ARⅡの形成的評価のためのルーブリック

観点	評価基準		
	3 優れている	2 良い	1 努力を要する
テーマ設定が適切である。	・先行研究を踏まえている。 ・文献調査などの事前学習がなされている。 ・独創的である、または科学的に意義のあるテーマである。	・先行研究を踏まえている。 ・文献調査などの事前学習がなされている。	・不十分である
研究の目的がはっきりしている。	・研究の動機（テーマ設定）に基づいて目的を設定している。 ・目的が科学的に検証可能である。	・研究の動機（テーマ設定）に基づいて目的を設定している。	・不十分である
実験している。	・実験の方法、結果が具体的に記入されている。 ・結果を表にまとめている。 ・時系列に並べられている。 ・情報が整理されている（方法や結果を写真、グラフ等を用いて表している）。	・実験の方法、結果が具体的に記入されている。 ・結果を表にまとめている。	・不十分である
データの量が十分である。	・実験回数、標本数が記録されている。 ・データが数学的に正規分布を示す程度に、複数のデータが記録されている。	・実験回数、標本数が記録されている。 ・複数のデータが記録されている。	・不十分である
社会への貢献度が高い。	・社会や生活との関連について言及している。 ・社会の要求に即応的である。 ・将来的に社会での活用が十分に期待される。	・社会や生活との関連について言及している。	・不十分である
文字、図表が見やすい。	・文字、図、写真の大きさや分量が適切である。 ・図表などの配置、色使いが工夫され、とても見やすい。	・文字、図、写真の大きさや分量が適切である。	・不十分である
全体的なまとめ方がよい。	・ポスター全体を通して、実験や調査の結果（根拠）をもとに結論（主張）が述べられている。 ・結果（根拠）から結論（主張）に至るまでの途中の論拠が述べられている。	・ポスター全体を通して、実験や調査の結果（根拠）をもとに結論（主張）が述べられている。	・不十分である

本校ＳＳＨ職員研修グループで、継続的な協議を重ね作成したもので、現在も改良を進めています。このルーブリックは、文化祭で出品されたＡＲⅡの課題研究を評価するために利用しました。審査員による評価結果を、指導の教諭を通して生徒に提示し、ディスカッションに活用しました。評価の観点と基準が明確であるため、適切なフィードバックをすることができています。